

考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

神仏分離令・廃仏毀釈と交野

神仏分離令とは

明治政府が発布した法令で、明治元年（1868）3月17日「神祇事務局ヨリ諸社へ達」を所見とする一連の布達を総称している。

神仏分離は具体的には仏像を神社に祀ったり、梵鐘・仏具を置いたりすることの禁止、神社に付属する神宮寺の分離、社僧の還俗などを定めたものだった。

廃仏毀釈とは

仏教寺院や僧侶を排斥する思想や行動。

廃仏毀釈が全国的な運動として展開するのは明治初年である、それは仏教禁教を意図したものではなかったが、激しい廃仏毀釈運動を巻き起こした。

たとえば鎌倉の鶴岡八幡宮では、建物がすべて取り壊された。また、奈良の興福寺のような大寺院でも、すべての僧侶が僧籍を奪われて無住の寺院となり、堂塔が国に没収された。現在は国宝となっている五重塔は民間に売りに出された。当時の金額 25 円（5 円、50 円説もあり）で売られ、その後、焼却されるところ住民の反対で救われたというエピソードも伝わっています。廃仏毀釈によって、おびただしい数の文化財が破壊された。



国宝・興福寺 五重塔

寺院ではどのようなことが行われていたのか？

- 寺院僧侶の生活の華美に対する批判、堂塔伽藍の寄付の制限、墓石の寸法の制限、戒名料の制限、宗祖の遠忌の寄付の制限、葬祭への出費の制限などがみられ、おびただしい統制がくりかえされている。
- 僧侶は民衆がキリシタンでないと保証する寺請証文を書くこととひきかえに、さまざま要求を民衆に課しているが、これが逆に民衆の廃仏毀釈思想をますます強めることにつながっていった。
- 寺請証文の作成を廃止し、すべての領民に神道請証文を神主の手で作成させている。それゆえかなりの寺院が経営不振となり廃寺に追い込まれた。

国史大辞典より



獅子窟寺 六体地藏さんも

- 六体のうち、四体の首が飛ばされている。
- 両端の柱のホゾは覆い屋根があった。
- 台座と仏身は、はめ込み式になっている。



獅子窟寺 安産地藏さんも
廃仏毀釈の犠牲者？

残った、のこった



獅子窟寺 薬師堂

こんなことも、獅子窟寺に祀られていた「秋葉」さんが若宮神社に移転されている。



秋葉さん、右が若宮さん

*獅子窟寺と廃仏毀釈についての詳細は分かりません。

次回 5/10



国宝薬師如来坐像（獅子窟寺）

- 元和元年（1615）三月獅子窟寺衆徒は大坂方に加勢すべきと命じられたが、従わず、そのため全山焼き払われた。のに、どうして薬師さんは、難を逃れられたのか（大坂夏の陣）
また、廃仏の時も政府からのお達しが届かなかったのか、「見回り隊」が見逃したの？コロナまん延防止とちがいまっせ（笑）神社とお寺の規模、勢力の違いもあったのかもかもしれませんね。